

平成 25 年度愛媛大学大学院学位記授与式式辞

本日ここに、多数の来賓の方々のご臨席の下で、各研究科において所定の課程を修了し、学位審査に合格した皆さんに、学位記を授与させていただきました。

学位を授与された皆さんのこれまでの努力に対して深く敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。また、皆さんの日々の勉学と研究生活を支えてこられた指導教員、関係の皆さんにも心から敬意を表します。また、本日ご列席いただいたご家族、関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、この佳き日を迎えられたことをお慶び申し上げます。

新たに学位を授与された方は、博士の学位が 23 名、修士の学位が 366 名であります。また、大学院連合農学研究科においてはすでに 3 月 17 日に学位授与式が行われ 20 名が博士の学位を授与されています。

皆さんの中には、48 名の社会人学生、14 名の海外からの留学生が含まれています。社会人の場合には、勤め先や家族の理解なしには大学院での修学は成し遂げられなかったでしょうし、ご本人の苦勞も並大抵ではなかったと思います。また、留学生の場合は、言語や習慣の違いなどさまざまな面で苦勞も多かったと思います。このような中で、困難を乗り越え、情熱をもって研究に励み、学位を取得されたことの喜びもひとしおと推察いたします。

皆さんの中には、すでに社会人として活躍されている方もおられますが、多くの方はこれから社会での活動が始まります。大学院課程で培った知識や技能がすぐに社会で役立つとは限りません。むしろ、すぐに役立つケースは多くないでしょう。しかし、これまでの学修や研究の過程で体得したものは長い人生の要所要所で役立つ時が来るものです。

皆さんが学位論文としてまとめ上げた研究成果や、それに関連して得た専門的な知識や情報はもちろん皆さんにとって掛け替えのない宝物ではありますが、たとえ自覚していないとしても、皆さんが体得したものはそれよりはるかに大きな広がりと深さをもっています。課題解決に至るための飽くなき探究心、努力すれば困難は乗り越えられるという自信、研究の過程で見いだした独自の工夫や方法、あるいは人と意見交換や議論することの有効性、組織的な活動のなかで培われたコミュニケーション力や人間関係を構築する力など、必ずしも言葉では伝えられないような数々の知恵やノウハウはこれから社会で生きていく上で大きな財産になります。

さて、我が国では 1990 年代初頭のバブル経済の崩壊以降、デフレに陥り、経済の低迷が続いており、「失われた 20 年」と言われています。安倍新政権になって、デフレ経済を克服するための大胆な金融緩和措置を講ずるといふ金融政策、いわゆるアベノミクスが導入されて、世の中の雰囲気はすこし変り円安・株高などの効果が生まれています。しかしこの政策が長期にわたる好循環の経済成長をもたらすかどうかはまだ定かではありません。

一方、アジア地域に目を転じると、中国や韓国、ASEAN 諸国などで経済発展が著しい反面、20 世紀に我が国を含む先進国が経験して来た大量生産・大量廃棄による環境破壊が深刻な問題になっています。また、クリミアのロシア併合問題などで代表されるように領土、

民族、宗教などに起因する地域紛争は絶えることがなく、しかも問題解決は容易ではありません。

このような先行き不透明で困難な時代、しかも一方でグローバル化が進み、競争と技術革新が絶え間なく起こっている時代においては、いま採用されているシステムやモデルはいずれ通用しなくなるという覚悟をもつことが必要です。これまでうまくいったからと言って従来のシステムに固執（こしゅう）するのではなく、新しい変化とそれに見合った新しいシステムに適合する志向をもち、新しいタイプの社会をつくるという気概をもつことが、次の時代のリーダーとなる皆さんに求められます。

社会システムや産業構造が変化する時代にあっては、一人ひとりの知的能力が試されています。言葉を代えて言えば、自分の能力を発揮できる機会がそれだけたくさんあるということです。これからの人生の中で、自分が活躍できる場を創造的に作り出し、たえず新しい課題に果敢に挑戦していただきたいと思います。

もちろん、その過程においていつも順風満帆（ばん）というわけではなく、厳しい困難に直面することもあるでしょう。そのような時には、学び直したり、第三者からアドバイスを求めたりする必要があるかもしれません。そのような時にはいつでも愛媛大学に戻って、指導教員や教職員と一緒に困難を乗り越えられることを期待します。愛媛大学は皆さんにとっていつまでも信頼でき安心できる母校でありたいと考えています。

愛媛大学大学院で新たに学位を取得された皆さんの門出を祝うとともに、皆さんのこれからの活躍を祈念して、学位授与の式辞といたします。

平成 26 年 3 月 24 日 愛媛大学長 柳澤 康信